

多様な人とかかわる中で、自他のよさを認め合い、協調して学び、新たな自分を発見できる子どもの育成

学校通信 ひがしやま 第56号	発行日 令和6年10月30日(水)
	発行者 別府市立東山幼稚園 別府市立東山小学校 別府市立東山中学校 校(園)長 谷川 芳明

○放課後学習サポートについて。(10/21)

1 保護者(村津PTA会長)から、報告のあった日報の一部をご紹介します。

- (1) 宿題を終えた何人かは、さらに「学年別のプリント」に取り組んでいました。
- (2) 「今の学年じゃなくてもいいよ」と声掛けすると「振り返りをする!」と前の学年の算数プリントを選んでやっていました。
- (3) 計算カードの読みあげを「時間を計って~」とか、国語の音読を「読むから聞いて~」と見守りサポーターさんに積極的に頼んでました。
- (4) プリントに丸付けをしていたら、子どもが手伝ってくれました。
- (5) プリントに取り組んだら、ポイントが貯まり、ご褒美がもらえるような「お楽しみ」を作りたい。
- (6) 最後にイスをきちんと整頓するなど、マナーも一緒に身に付けられるように「お約束」をしたいと思います。

2 子どもたちの感想について。(抜粋)

- (1) 帰りに宿題をやって終わってよかった。(2) お母さんたちや友だちと頑張って勉強ができたので、満足度高いです。

★★

○園児の「車いす体験」について。(10/25)

別府市社会福祉協議会主催の「訪問ワークショップ」が実施されました。福祉車両に車いすでそのまま乗る体験など、大変さやお手伝いすることが大事だと気づいた園児たちでした。

12月18日(水)3、4時間目には、同ワークショップで「盲導犬との生活」を幼稚園、小学部児童が体験します。以下はお礼の気持ちを込めて園児が作った作品です。

